

 茨城県平和委員会は、平和な毎日が続くよう、平和を願う多くの方々と、草の根から力を合わせて取り組みを進めます。本年もよろしくお祈りします。



あけましておめでとうございます

飯田 美弥子 県平和委員会共同代表 日立市・うぶすな法律事務所長 (弁護士)

昨年は、コロナ禍の下、東京五輪・パラリンピックが行われ、賑やかなマスコミ報道を余所に、国民はコロナの爆発的な感染拡大に疲弊しました。9月には、菅首相がコロナ対策専念を理由に自民党総裁選への出馬を断念。政治を変える大きな機会と思われた総選挙。野党共闘の挑戦は、小選挙区で成果を上げつつ、比例区で弱点が顕れました。日本維新の会や国民民主党など、改憲推進派の議席が増えたことは、今年、憲法を護る闘いが一層重要になることを意味します。

小選挙区制である以上、野党共闘以外に議会で多数

を得る途はありません。連合会長やマスコミのヒステリックな共闘非難・反共攻撃を乗り越えて、改憲を阻止し、平和を未来に繋ぐ活動を強めて参りましょう。

私自身は、東海第2原発のある茨城5区の候補者として、脱原発を訴えさせていただきました。自民党や連合が金と力に物を言わせている地域で、金も力もない一介の女弁護士が候補者として訴えるのは、一種快感さえありました。

自分の頭で考えて投票先を選ぶ人を増やしたい。正論が通る社会、郷土になることを信じて、今年も活動して参ります。どうぞよろしくお祈りいたします。



平凡な日常を大事に

篠原 睦 県平和委員会事務局長

朝、夕散歩しています。朝だけのこともあれば、夕のみも。朝、虹を見たときは「これが、三文の徳か」とうれしくなりました。白い満月が西に残り、東から真紅の太陽が顔を出したときは地球の上に立っている、と

楽しくなりました。ところで今春まで所属した教職員組合は戦前戦中を反省し、「教え子を再び戦場に送るな」を教育実践、運動の柱にしてきました。平凡な日常を大事にしながらい「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのない」ようにがんばりたいと思います。



平和な世の中が日常であってほしい

石井 明 県平和委員会事務局次長

「へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎののんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒーんとなく。へいわっていいね。(小学1年 安里有生)」
「生まれたばかりの姪は小さな胸を上下させ、手足を一生懸命に動かし、瞳に湖を閉じ込めて、『おなかすい

たよ』『オムツを替えて』と力一杯、声の限りに訴える、大きな泣き声をそっと抱き寄せられる今日は平和だと思う。赤ちゃんの泣き声を愛おしく思える今日は穏やかであると思う。(中学2年 上原美香)」

願わくば、会費を集めて、会員を組織して、学習会を開催して、集会に参加して・・・などしなくても、上記小学生や中学生の考えるような世の中が日常であってほしい。



悔いが残らないよう頑張りたい

神原 要 県平和委員会事務局次長

年齢かコロナのせいかな、あっという間の一年間。昨春、地元の「水戸西平和の会」のこともあり、やや後ろ向きの姿勢で受けた県の事務局。特に会議に「ズームで参加して」が苦手でした。今年はコロナが治ま

り、みなさんと直に集まれることを切に願っています。でも今年は、まちがいなく平和憲法の命運を握る参議院選挙もあります。苦手な「ズーム」を少しでも克服して、悔いが残らないようみなさんと一緒に頑張りたいと思います。



百里基地 日米共同訓練抗議集会



防衛省より日米共同訓練の通知が県及び5市町にあったのは12月1日。青森県三沢基地から飛び立った米軍戦闘機F16が住宅地に燃料タンク二つを投げ捨てたのは11月30日のことです。米軍は原因究明後の飛行再開を日本政府が求めたにも関わらず翌々日に訓練を再開。自公政権は「遺憾の意」を表すのみでした。

日米共同訓練は、12月13日(月)から17日(金)間に行われました。新聞報道によると、県は「機体整備面の安全対策徹底を口頭で申し入れ」、小美玉市基地対策課は「安全対策とコロナ対策を徹底して頂きたい」と要請したようです。米軍はパイロット及び整備員等で170名程度が参加。100名は百里基地内に宿泊、70名は基地外のホテルに宿泊し、基地とホテルを往復します。また適当に交替しながら飲食街で遊びや息抜きをします。政府、県、自治体とも「安全対策」「コロナ対策」は米軍任せです。

抗議集会は13日午前10時30分、百里基地周辺で行いました。参加者は約60名。北茨城市平和の会の鈴木孝夫さんが、8月26日のオスプレイ抗議集会を妨害したユーチューバー対策のボードを持って駆けつけるなど、思い思いのプラカードが林立しました。

当日、早めに到着した私が目

にしたのは、「防衛省敷地内に駐車させない」として、自衛官が車止めを設置しているところでした。小美玉市は職員5人を派遣し、市所有地に宣伝カーが入れないように監視していました。防衛省は2本の規制ロープ、小美玉市は30余のカラーコーンを設置しました。パトカー1台も基地正門前に配置し、防衛省、警察、自治体が三者一体になった妨害です。抗議集会はロープとカラーコーン「狭間」で開催となりました。

抗議文を手渡す

百里連協は9日に役員会を持ち、翌10日に従来通りの場所で開催できるよう百里基地側に申し入れました。悪質なユーチューバーの妨害を理由にして、日米共同訓練抗議集会を、



ロープの「外」に排除したことに抗議しました。土地利用規制法(22年9月施行)を先取りしたかのような国家権力の理不尽な強制力を感じました。原因をつくったユーチューバーは元自衛官。権力がつながっているのではないかという疑問も感じます。

各団体から「共同訓練は集団的自衛権の行使を準備するもの」「岸田文雄首相は所信表明演説で敵基地攻撃能力に言及。日本を再び戦争に巻き込もうとしている」等と戦闘機の爆音にも負けず抗議の声が続きました。憲法に定められている請願権や集会の自由を敵視する防衛省、警察、自治体への怒りが響きました。

日米共同訓練は17日に終了。しかしオスプレイ訓練は「8月以降月数回程度」(北関東防衛局7月14日付)継続します。今後も緊急集会があります。また県北でオスプレイが目撃されています。認知の際は機影の撮影やご連絡をお願いします。《篠原 睦 県平和委員会事務局長》



「名護市長選挙募金」の協力、お願いします！

候補者は「岸本洋平(48歳)氏・名護市議」オール沖縄が支援！

「辺野古大浦湾の埋め立て、新基地建設は認めない決意」です！

2022年1月23日(日) 投開票です。

カンパ袋を各平和の会へ送ります。

「憲法改悪を許さない全国署名」を進めよう！

「改憲反対」

わたしたちの声を署名で届けましょう。署名用紙を送付します。

平和かわら版

【平和新聞茨城版】

発行 茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281 Tel/Fax 029-251-2806

No.928

2021 12.25 合併号
2022 1.5

E-mail: i-peace877@silk.plala.or.jp

情報&交流 茨城県平和委員会Facebook

www.facebook.com/groups/449291196000108

